



日本プライマリ・ケア連合学会
四国ブロック支部 活動報告

発行人：板東 浩
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・松原宛
Tel. 087-876-1185 Fax. 087-876-3795
E-mail oharamasaki@gmail.com

ニュースレター No.2 (2013.6)

★1 2013年四国ブロック支部大会のご案内 (高知大会)

今年度の四国ブロック支部大会は、高知市で開催されます。例年通り四国地域医学研究会と合同開催、日程は10月19～20日の日程です。例年同様に、多数のご参加をお願いさせていただくと共に、多くの演題発表をお待ちしております。現在、高知県では「リョーマの休日」(<http://www.attaka.or.jp/ryoma-holiday/>)という観光キャンペーンも行っており、カツオのたたきや新鮮なお刺身、日本酒、栗焼酎(ダバダ火振り)など美味しい土佐料理も併せてご堪能いただきたいと思います。青い空、青い海で有名な南国土佐の地で、皆さまとお迎えができますことを関係者一同心より楽しみにしております。高知でお待ちしております！



- 【大会名】 第13回 日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部大会、
第20回 四国地域医学研究会 (合同開催)
- 【テーマ】 「これからの日本の医療の話をしよう！」
- 【開催日時】 2013年10月19日(土) 14時～20日(日) 12時30分
- 【開催場所】 高知市あんしんセンター3F 〒780-0850 高知市丸ノ内一丁目7番45号
※無料駐車場あり
- 【大会長】 高知大学医学部家庭医療学講座教授 阿波谷敏英
- 【大会事務局】 高知医療センター地域医療科科長 澤田 努
〒781-8555 高知市池 2125-1 088-837-3000 (代表)
連絡先 pcshikoku@gmail.com
- 【大会日程】

第1日目<10月19日(土)>

- 14時 開会
- 14時20分 基調講演「日本の医療をめぐる課題と動向」
講師：自治医科大学学長 永井 良三 先生
(元 東京大学医学部附属病院病院長、元 東京大学大学院医学系
研究科内科学専攻循環器内科教授)
- 15時40分 シンポジウム 「これからの日本の医療の話をしよう！」(仮題)
- 18時30分 懇親会 (会場は未定)

第2日目<10月20日(日)>

- 9時 一般演題
- 12時30分 閉会

【大会参加費】 医師 1,000 円 (研修医、学生、コ・メディカルは無料)
 【演題、参加募集】 2013 年 6 月頃 (予定)
 最新情報は facebook で <https://www.facebook.com/shikoku2013/info>



★2 歯科から「口腔ケア
 ネットワーク構築事業の報告」

香川県では新地域医療再生計画の具体的施策として平成 24 年度より 2 か年間、口腔ケアネットワーク構築事業を実施しています。事業実施主体は香川県歯科医師会で、香川大学医学部附属病院、香川県立中央病院、三豊総合病院など基幹病院とかかりつけ歯科医院の連携より、がん治療などの周術期における肺炎などの合併症の予防、化学療法・放射線治療時の口内炎や味覚異常など有害事象へのケア体制を整備しています。

また、在宅、介護施設において途切れることなくシームレスに口腔ケアが実施できるように口腔ケアに関する講習会の開催や、在宅で口腔ケアを専門的にする歯科衛生士の養成コースを開設しました。そして特別養護老人ホーム「シオンの丘ホーム」で口腔ケアにモデル的に取り組むなど、関係機関による口腔ケアに関する連携体制を整備し口腔ケアの推進による患者の QOL 向上を図ることを目的に事業展開しています。

＜第 3 回三豊・口腔ケアネットワーク研修会兼、第 42 回三豊観音寺地区 NST 勉強会開催のお知らせ＞

日時：平成 25 年 6 月 27 日 (木) 18:00～19:30
 会場：三豊総合病院講堂 (管理棟 3F)
 講演： 地域医療と連携 (仮題) 溝渕敏水 先生
 (医療法人聖真会 渭南病院)
 在宅での口腔ケア (仮題) 講師未定
 問合せ先：三豊総合病院歯科保健センター
 電話 0875-52-3366, 担当：福田
 (三豊総合病院 木村年秀)



グループホームで口腔ケア研修の様子

**第13回 日本プライマリ・ケア連合学会
 四国ブロック支部大会
 第20回 四国地域医学研究大会 (合同開催)**

テーマ これからの日本の医療の話をしよう!

開催日時 平成25年10月19日(土)午後2時
 ～ 10月20日(日) 午後0時30分

場所 高知市総合あんしんセンター3階
 〒780-0850 高知市丸ノ内一丁目7番45号

**懇親会参加申込・演題申込
 9月16日(月)締切**

大会参加費 1,000円 (医師・歯科医師) 無料 (研修医、学生、他職種)
 懇親会 5,000円 (医師・歯科医師) 無料 (学生)
 3,000円 (研修医、他職種)

10月19日(土) 基調講演「日本の医療をめぐる課題と動向」
永井良三 先生 (自治医科大学学長)
 シンポジウム「これからの日本の医療の話をしよう」
 懇親会
 10月20日(日) 一般演題(口演)

<https://www.facebook.com/shikoku2013/info>

問合せ先 【大会長】 阿波谷敏英 (高知大学医学部家庭医療学講座)
 【事務局】 澤田 努 (高知医療センター地域医療科)
 〒781-8555 高知市池2125-1 088-837-3000 (代表)

★3 愛媛PC研究会から：

愛媛プライマリ・ケア研究会共催の第1回多職種連携ワークショップが2013年4月27日(土)に開催されました。

その中で、上本明日香さん(愛媛大学医学部4年生、日本プライマリ・ケア連合学会学生支部)の素晴らしい司会によって、医学生(愛媛県のみならず近隣の大学からを含む)、医師、十全総合病院のリハビリテーション部の職員、松山大学薬学部の学生さんなどを交えて、各職種の役割について、高齢者の介護プランの作成を考えながら学習しました。

中村伸一先生の講演では、名田庄診療所での活動を具体的な事例を交えて紹介していただき、地域をケアする熱い想いに会場が包まれました。とても心温まる内容で同窓生として共感を覚えました。

第1回 えひめ多職種連携ワークショップ
 日時：平成25年4月27日(土)
 場所：松山コミュニティセンター
 参加費：1000円

スケジュール
 ●13:30- 受付開始
 ●14:00 開会のあいさつ
 ●14:10- 学生による多職種連携WS 前半の部
 (15:30-16:45 休憩)
 ●16:45- 学生による多職種連携WS 後半の部
 ●17:45- 特別講演 受付開始
 ●18:15- 中村伸一先生 特別講演
 ●19:30- 懇談会
 ●21:00 閉会のあいさつ

特別講演
 名田庄診療所
 中村 伸一 先生
 福井県おおい町名田庄地区の医療を担って20年、地域に寄り添う総合医。中村伸一先生の国際学会を開催します。患者さんと向き合うために、医療スタッフとどのような連携をされているかご講演頂きます。

申し込み先
<http://www.facebook.com/events/127838300732806/>
ehimedworkshop@yahoo.co.jp (こちらにメールを送ってください。申し込みフォームを送ることで済みます)
 問い合わせ：愛媛大学医学部医学科4年 上本明日香 (上本もあ) ehimedworkshop@yahoo.co.jp

<第13回愛媛プライマリ・ケア研究会開催のお知らせ>

愛媛大学大学院社会医学コースフォーラム

【日 時】2013年7月20日(土) 16:00 ~19:00

【場 所】リジェール松山 8F 「クリスタルホール」

松山市南堀端2-3 (JA愛媛8F) TEL 089-948-5631

【一般演題】 16:00~

【特別講演】 18:00~

帝京大学医学部地域医療学 教授

井上和男 先生

御知り合いの先生方や医療関係者にお声をかけご参加ください。(愛媛大学地域医療学 川本龍一)

★4 香川PC研究会から：

平成25年2月25日(月)、香川県医師会の会議室において、香川プライマリ・ケア研究会役員会を開催しました。

その際には、県と13職能団体の代表者が集まり、平成25年度に開催される香川プライマリ・ケア研究会の日程や内容について打合せを行いました。また、今後における研究会の開催方法についても、協議を行いました。

<平成25年度「香川プライマリ・ケア研究会」開催案内>

日時：平成26年2月11日(火・祝) 13:00~16:30

会場：JRホテルクレメント高松

特別講演：稲川利光先生(NTT東日本関東病院リハビリテーション科部長)

一般演題：研究会参加13職能団体の推薦演題とともに、公募演題も受け付けます。

問合せ先：香川県医師会(電話087-823-0155、担当：長尾) (陶病院 大原昌樹)

★5 徳島大学大学院総合診療医学分野

平成25年5月18日、19日に仙台で開催された第4回日本プライマリ・ケア連合学会には徳島大学大学院総合診療医学分野の教室員と地域医療研究に関わった医学生が参加し、一般演題として7題の発表を行いました。

また、同分野の谷教授が「地域医療の向上と人材育成に関わる寄附講座の現状と将来について」と題したシンポジウム(インタレストグループ)を企画し、今後の寄附講座のあり方や存続、さらには正規講座への転換についての取り組みに関する議論を交わしました。

また、徳島県南で家庭医療専門医を育成する「南阿波総合医・家庭医養成プログラム」(責任者：河野光宏)の紹介と募集も行いました。

平成25年2月16日には、第11回徳島地域医療教育研究会を開催しました。最初に、当分野で地域医療研究に関わった研究室配属生による研究発表を行いました。地域医療における医学生教育や女性医師の勤務環境、チーム医療などをテーマにして医学研究に取り組んだ医学科3年生4名がその研究成果を発表しました。



特別講演には本学出身で千葉県の亀田グループ(安房地域医療センター総合診療医学科部長)の西野洋先生をお招きし、「地域医療の現場でジェネラリストを養成する」と題した講演をして頂きました。

医学生サークル「地域医療研究会」の医学生、地域医療に関わる医療関係者、徳島県、そして当分野の教室員など52名が参加し、活気あふれる会となりました。

同研究会は当分野が主催して年に2回定期的で開催しており、地域医療教育に関わる方々と医学生との交流の場となっており、意見交換を通して地域医療教育レベルの向上を目指しております。

<第12回「徳島地域医療教育研究会」開催案内>

今回が11回であり、第12回徳島地域医療教育研究会は下記の日程で行う予定である

日時：平成25年6月29日(土)19時～

会場：ホテルグランドパレス徳島

JR徳島駅から徒歩数分

問合せ：徳島大学総合診療医学

(徳島大学大学院総合診療医学分野 谷憲治)

★6 「とくしまマラソン」と「阿波踊り体操」

2008年から始まった「とくしまマラソン」は今年で第6回、全国から約1万人のランナーがエントリーし、高橋尚子さんもゲスト参加下さり、4月21日に無事終了しました。また県内の医療関係者の中には、ランナーとして参加した人、沿道で応援した人、そして医療救護のメンバーとして参加した人達があります。医療救護分野では、メディカルサポート連絡協議会として、県医師会、看護協会、消防、日赤、救急病院、看護学校などから参画し、走る人たちの安全を支えてきました。

田中俊夫・徳島大学・大学開放実践センター教授が、2005年12月に構成した「阿波踊り体操」は、徳島の伝統的な盆踊りであり、「踊る阿呆に見る阿呆」で有名な「阿波踊り」をアレンジし、誰でも手軽に楽しくできる運動です。軽快なメロディーにあわせて手足を動かし、踊りの基本的な動作をとり入れた運動により、腰のストレッチや筋力トレーニングも行えるよう工夫されています。

[阿波踊り体操トレーニング編 - YouTube](#)



www.youtube.com/watch?v=

2009/10/08 - アップロード元:

阿波踊り体操トレーニング編.

'08 Tokushima Awa Odori

フルマラソンはいきなりは無理でも、健康づくりの一環として、そして生活習慣病対策として、運動を気軽に始めるきっかけとして、皆様の職場・ご家庭でも、保健指導の場でも、「阿波踊り体操」を活用してみませんか?

(今すぐ「阿波踊り体操」をクリック!)

徳島県支部 鎌村好孝 (徳島県健康増進課、徳島県立中央病院地域医療科)